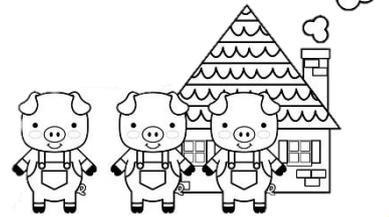


第18回 生活発表会(表現)

あらすじ

【 3匹のこぶた 】 ぱんだぐみ

あるところに、3匹のかわいいこぶたが仲良く暮らしていました。みんな大きくなったのでそれぞれ自分の家を作りました。一番上のおおぶたちゃんは、わらでお家を作りました。そこへ、お腹を空かせたいじわるなオオカミがやってきました。オオカミは、「こんな家、吹き飛ばしてやる！」と言って、わらのお家をひとふきで吹き飛ばしてしまいました。次に、二番目に大きいいちゅうぶたちゃんが木のお家を作りました。そこへ、またオオカミがやってきました。オオカミは、「こんな家、吹き飛ばしてやる！」と言って、木の家もひとふきで吹き飛ばしてしまいました。一番小さいこぶたのちいぶたちゃんは固いレンガのお家を作っていました。そこへ、家を吹き飛ばされたおおぶたちゃんといちゅうぶたちゃんが逃げてきました。オオカミがやって来て、家を吹き飛ばそうと大きく息を吹きましたが、レンガの家はびくともしません。オオカミは3匹の子ブタに「いじわるしてごめんね。」と謝り、最後はみんなで仲よく暮らしました。



【 ヘンゼルとグレーテル 】 きりんぐみ

昔々、ヘンゼルとグレーテルという仲良しの兄妹がいました。2人はお腹が空いていたので、いちごを探しに出かけました。しばらく歩いていると森に到着しました。森の中を探していると、森の精と動物たちに出会いました。ですが、その森には魔法使いが住んでいて、子どもたちが来ることをずっと待っていたのです。ヘンゼルとグレーテルは、森の精たちに教えてもらった場所へ行く途中、道に迷ってしまいました。森の中をさまよっていると、2人はお菓子の家を見つけました。お腹が空いていた2人は夢中になって家を食べ始めました。そこに現れたのは・・・魔法使い！この家は、魔法使いが子どもたちを捕まえるための家だったのです。見つかってしまった2人が一生懸命逃げていると、そこへ森の精たちが助けに来てくれました。みんなで魔法使いをやっつけて、森は平和になりみんなで仲良く暮らしました。



【 シンドバッドの冒険 】 ぞうぐみ

むかしむかし、好奇心いっぱいの少年シンドバッドという若者が、船乗りの叔父の話に憧れ親元を離れ、冒険の旅に出発。ちょうどその頃、海賊に命令されたロック鳥が、虹の島に住むお姫様を連れさらってしまいました。大パニックに陥った虹の島。虹の精は冒険で訪れていたシンドバッドに話を話し、お姫様を助けて欲しいとお願いしました。お姫様を探す道中、宝石の島に寄り一休みをするようになったシンドバッド。すると、そこへ海賊とロック鳥が現れ、シンドバッドは知恵と勇気を武器にお姫様を連れ戻すことができました。

